

海軍功績部長殿

北東方面艦隊機密第八號ノ二三三

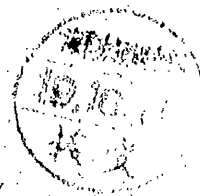
自昭和十九年六月一日
至昭和十九年六月三十日

十月一日發行

北東方面艦隊
第十二航空艦隊

戦時日誌

北東方面艦隊司令部
第十二航空艦隊司令部



8970

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十九年六月一日
至昭和十九年六月三十日
戰時日誌

一 經過

(1) 敵情並ニ友軍ノ狀況

(一) 戰爭ノ短期終結及對ソ索制外交ニ焦慮シアリタル米英ハ六月

六日大擧テ北佛海岸一帯ニ上陸作戰ヲ開始セリ

曩ニ歐洲全獨軍ノ兵力大移動ヲ斷行シ隱忍自重ニ管

今日ニ備ヘアリシ 獨精銳部隊ハ隨所ニ之ヲ邀撃其ノ一部ヲ

撃滅シタルモ有カナル空海軍援護ノ下 鈇量ヲ待メル聯合軍

軍ハ逐次橋頭堡ヲ擴大スルト共ニ續々攻畧部隊ヲ上陸セシメ

目下「コタントン」半島ヲメケリ彼我邀戰展開中ナリ

(二) 先月末來「アックアサト」麾下艦隊ヲ以テ我「ピアク」島攻畧作戰

ヲ續行中ナリシ米軍ハ十一日太平洋艦隊全カヲ擧ゲテ強引ニ

我「マリアナ」諸島侵攻作戰ヲ開始セリ我所在守備隊ハ陸海

軍一體テリ寡兵良ク之ヲ撃退セルモ十五日敵攻畧部隊ノ

一部は遂ニサイパン島上陸ヲ敢行スルニ至レリ

昨秋「ブーゲンビル」島沖海戦以後陣容ヲ一新滿ヲ持シアリシ我機動艦隊ハ十八日「あ號」作戦ヲ發動セラルルヤ勇躍決戦海面ニ出撃シ基地航空部隊協同ノ下善謀勇戦隨所ニ敵艦隊ヲ捕捉撃沈破シタルモ我亦相當ノ被害ヲ受ケ決定的打撃ヲ與フルニ至ラザリキ續イテ二十日以降兵力ノ整理ヲ行フト共陸上部隊ト相呼應主トシテ基地航空兵力ヲ以テ殘敵攻撃中北太平洋方面ニ於テハ連夜ノ空爆下ニアリテ着々邀撃態勢ヲ強化中ナルガ十四日敵北方艦隊一部ハ松輪島夜間砲撃ヲ敢行シテ二十六日拂曉不敵ニ至リ武藏ニ對シ砲撃ヲ加ヘタリ基地航空部隊ハ其ノ都度之ヲ追撃セルモ敵ハ濃霧ニ乘ジ北東洋上ニ遁走セリ

敵ノ海上交通破壊戦ハ遂次其ノ熾烈度ヲ加ヘ樂觀ヲ許サズ

情勢カニアリ

作戦指導
（一）北東方面艦隊司令部ハ占守島片岡基地ニ在リテ全般作戦指

導中

- (一) 千島海域ニ於ケル敵者ノ跳梁跋扈ニ鑑ミ初旬第一水雷戦隊司令部ヲ小樽ニ進出セシメ海上交通保護部隊ノ強化ヲ圖レリ
- (二) 卅電令作第八六號ニ依ルルアツツ夜間攻撃ハ天候ニ制肘セラレ十日附中止ノ已ム無キニ至レリ
- (三) 十日以後ハ空飛行艇ヲシテ卅電令作第一三〇號ニ依ルル哨戒任務ニ従事セシム
- (四) 十四日敵水ニ部隊一部ヲ以テ我ガ松輪島ニ對シ夜間砲撃ヲ開始シ來レルヲ以テ同日甲作戦第一法用意ヲ發令セルモ爾後敵ノ策動ナク十六日甲作戦第二法警戒ト爲セリ然ルニ二十日拂曉再度敵艦隊ハ武藏基地砲撃ヲ敢行スルニ至リ即日甲作戦第一法警戒ト爲シ所在航空部隊ヲ以テ多明索敵攻撃ヲ決行セルモ天象ニ制肘セラレ遂ニ洋上ニ逸セリ
- (五) 第五艦隊ヲシテ自六月十七日至六月三十日期間卅電令作第七六號ニ依ル作戦ニ従事セシム
- (六) 敵表動ノ兆(通信謀報ニ依ル)ニ鑑ミ二十日甲作戦第一法警戒ニ

0880 1953

ヲ發令ニ十二日ニ至リ「同敬言戒ヲ解キ」第三〇三號撃子配備甲作
戰第二警言戒ト爲シ二十九日同敬言戒ヲ解除セリ

(ハ)東號作戰發動期間(自六月十五日至六月二十日)中麾下航
空部隊一部ヲシテ同作戰ニ從事セシメタリ

(ニ)北東方面艦隊戰時編成中主ナル変更次ノ如シ

六月五日附 第三魚雷艇隊ヲ千島根據地隊ニ編入

六月十五日附 第二(四五三空欠)ヲ一時弔ヨリ除カレ四五三空ヲ第二長官直
率トセラル

六月十五日附 木曾及二十一驅逐隊(若葉初春)ヲ一時北方部隊
ヨリ除カレ第二長官直率トナル

(イ)麾下部隊ノ主ナル行動概要

(一)第二十七航空戰隊司令部ハ三澤基地ニ在リテ前月來ノ任務
續行中ナリシガ南方情勢ノ逼迫ニ鑑ミ十五日第二(四五三空欠)ノ

全カヲ擧テテ東京灣方面ニ進出セリ

十六日第二電令作第二六三號ニ依リ第二ヨリ除カレ爾後第二長官直率ノ

下八幡空襲部隊主カト成リ目下硫黃島基地ニ進出シ活躍中ナリ

北 東 方

第 五 艦 隊

第 三 十 一 戰 隊
第 一 水 雷 戰 隊
附 屬

第 二 十 七 航 空 戰 隊

區

分

那智、足柄、木曾、多摩

阿武隈

第 七 驅 逐 隊
第 六 驅 逐 隊
第 五 驅 逐 隊

日帝丸、帝洋丸、白崎、第 三 號 天洋丸

第 二 五 二 海 軍 航 空 隊
六月十五日附

第 四 五 二 海 軍 航 空 隊
四五三空、長官

第 七 五 二 海 軍 航 空 隊
直率、雨余、外

第 八 〇 一 海 軍 航 空 隊
長官、直率、外

(一) 艦隊區分

(二) 第五土航空戰隊司令部ハ美院基地ニ在リテ整備訓練指導中
 (三) 前月來大湊陸奥灣ニテ訓練待機中ナリシ北方部隊ハ六月
 十七日外電令作第七六號ニ依リ横須賀ニ集結シタルモ二十六日同
 艦隊ニ部々任務ヲ解カレ大湊ニ回航セリ
 (四) 自余、各部隊ハ夫々本來ノ任務續行中ナリ

面艦隊

航空艦隊

第五十一航空戰隊

第二十二戰隊

浮島丸

第三〇三海軍航空隊
第五〇二海軍航空隊
第五五三海軍航空隊
第七〇一海軍航空隊

第一監視艇隊
第二監視艇隊
第三監視艇隊
第四監視艇隊

島方面根據地隊

第一驅逐隊

石垣(三十日沈没)國後、八丈

第五十一警備隊

第五十二警備隊

第五十三警備隊

第十五輸送隊、第三魚雷艇隊

占守通信隊

第五氣象隊

屬

合		聯		區分		區分及配備	
面		方		東			區分
隊		艦		面			
方北		隊部空航地		基二第			區分
艦五第		官長令司隊艦空航		二十第			
五第		附	ZPB	1PB	3/AB	1AB	指揮官
十二第		屬	1	△	△	△	
給			49	238	57/8f	21/8f	兵力
方北		二十魚雷調整班	49	238	七〇一空	五〇二空	
部方北		千	千島東方海面	本州東方海面	天 宿宇	松 輪	配備
歲					北千島	美幌方面	
魚雷調整		千	千島東方海面	本州東方海面	天 宿宇	松 輪	主要任務
敵攻畧部隊機動部隊					北千島	美幌方面	
補捉撃撃滅					天 宿宇	松 輪	主要任務
敵潜掃蕩撃撃滅					北千島	美幌方面	

(小)軍隊區分及配備

0496

職
主務官氏名
氏
名
記
事

人員現状
(1)司令官
(2)職員官氏名

		艦	隊
		部	隊
		司令官	隊長
附		部	隊
屬	千島防備部	艦	隊
	千根司令官	一驅二潛部	隊
第五氣象隊	千島方面根據地隊快鳳丸後鷗丸八九九三三三防空隊	部	隊
千片岡	千根司令官	隊	指揮官所定
氣象	一通信 二謀報 三敵潛掃蕩擊滅 四要地設營協力	三A方面偵察艦艇輸送船擊滅 四海上交通保護協力 五海面防禦協力 六運輸補給	

2650

海軍功績調考部長改
北東方面艦隊機密第八號ノ二四五

自昭和十九年七月一日
至昭和十九年七月三日

十月一日發行

北東方面艦隊
第十二航空艦隊

戰時日誌

北東方面艦隊司令部
第十二航空艦隊司令部

8670

目次
一 経過
二 人員の現状
三 今達報の概要
四 作戦経過の概要

(目次終)

自昭和十九年七月一日 北東方面艦隊
至昭和十九年七月三日 第一航空艦隊 戰時日誌

一 經過

敵情警友軍狀況

ハゴトシタル方面制空權ヲ奪取シ敵ハ更ニ有力ナル機動部隊ヲ
以テ我々小笠原諸島ニ來襲セシキ所在航空部隊挺身其ノ上ヲ擊
攘シ残余ヲ南方面ニ遁走セシメタリ

サイハシ島ニ於テハ同島海陸軍部隊平然一體トナリ奮戦敢闘セシキ
六日終ニ全員玉碎トシテ二十三日起テ二十日及二十四日我補給不

如意ニ来ララル敵ハ熾烈ナル砲撃擁護下大々大砲及自機ヤ
シ兩島ニ對シ上陸ヲ敢行シ来リテ陣在母艦隊ハ寡兵克ク奮斗シ

隨所ニ之ヲ撃退シタルニ一部敵ハ上陸スルトコトナリ目下激戦中ナリ
北東方面通信謀報ニ依テ敵ハ連日天候ニ制肘サレタルニ如ク大々奮

動兆候ヲ認め又敵機北十島來襲回救激減セリ此ノ間我北十島
攻撃態勢ハ全島海陸軍部隊異常ナル努力ニ依リ着々進捗中

七月月中ノ敵機北十島方面來襲回救 七十五回

(三) 近時敵潜水艦ノ行動漸次活發化シ我對潜兵力ノ手薄ニ乘テ寇威ヲ
振フマリ加ルニ北方洋ニマリテ天象ノ障害モ知ハリ北十島方面緊
急戦力發展ニ至ルニ及リ障害ヲ來セリ七月月中北十島方面被爆左ノ如シ
沈没 薄雲 日端丸 三保丸 東菜丸 計ニ九六。噸

作戦指導

一 北東方面艦隊司令部ハ片岡基地ニ在リテ全般作戦指導中

二 本島一水戦司令部ヲ小樽ニ進出セシメ一時中止申ナリシ同部隊ノ海

上交通保護作戦ヲ再興セリ

三 東號作戦發動セシメ當隊甲作戦第三法警戒トナシAB大部一在
北十島航空兵力缺ク本州方面ニ移動セシメタルモ八日ニ至リ同作戦

編制ヲ解ケル當隊ニ於テモ同營戒ヲ解除セリ

(四) 同日HTB合作第一三號ニ依ル偽購通信ヲ終了ス

(五) 戦時編制中其他主ナル変更次ノ如シ

(一) 同日附第一三號特設輸送艦ヲHTB補給部隊ニ編入セラル

(二) 同日附第一第二哨戒部隊ヲHTBヨリ除キHTBニ編入第二十魚雷調整班

特務艦大風ヲHTB附屬トシテ第二三魚雷調整班ヲHTBヨリ除キ同日

第三十六魚雷調整班ヲHTBニ編入セラル

(三) 同日附第一三三號特設輸送艦ヲ一時横鎮長官ノ指揮下ニ

編入セラル

(四) 十五日附第一三四號特設輸送艦ヲHTBニ編入二十二日附一時同艦ヲ

横鎮長官ノ指揮下ニ入レラル

同日附第一魚雷艇隊ヲ十島方面根據地隊ヨリ除キ横鎮部隊ニ

編入セラル

(5) 二十三日附行... 復歸セシメラル

二十日附大... 第一飛行
師團ヲ指揮スルト共ニ北海道及千島方面ノ直接防衛作戰ニ関

シ第五方面軍司令官ノ指揮ヲ受クル旨發令セラレ

ハ 麾下部隊ノ主ナル行動概要

ハ 第五十一艦隊戰隊司令部ハ上旬東越作戰部隊ニ編入サレ横濱

基地ニ在リテ作戰ニ從事スルモ八日同作戰ニ編成ヲ解カレ中旬

以降美幌基地ニ於テ作戰指導ヲ任シツシ銳意整備訓練指導中

四 大湊陸奥灣ニテ訓練待機中ナリシ北方部隊ハ二十四日附第一

遊撃部隊ニ編入スル内陸部ニ回艦待機訓練中ナリ

北 東 方

二艦隊司令部

隊艦空航二十第 隊艦五第

第二十二戰隊

第五十一航空戰隊

附

第一水雷戰隊

第二十一戰隊

三

分

津島丸

第一監視艇隊
第二監視艇隊

第四五海軍航空隊

第七〇海軍航空隊

第五五三海軍航空隊

第五〇二海軍航空隊

第二〇三海軍航空隊

日帝丸 白崎

阿武隈

第七驅逐隊
第十八驅逐隊
第三一驅逐隊

那智足柄 木曾多摩

艦 隊

附

千島方面根據地隊

屬

第一駆逐隊

國後 八犬

第五十一警備隊

第五十三警備隊

第十五輸送隊 第三魚雷艇隊

七号通信隊

第五氣象隊

第三監視艇隊

第四監視艇隊

5050

合 聯 區

中軍隊及師備

北 東 方 西 北 東 方 西

隊 部 空 航 地 基 二 第

艦 五 等 官 長 令 司 隊 艦 空 航 二 十 第

附 屬 31AB A

北 方 部 隊 四 五 三 空 年 前 七 一 空 天 寧 五 五 三 空 松 輪 五 三 空 美 隈 二 〇 三 空 北 千 島

主 任 務

一 敵 攻 略 部 隊 機 動 部 隊 捕 捉 擊 滅

二 A〇 方 面 敵 航 空 機 艦 艘 輸 送 船 擊 滅

三 南 擊 滅

四 對 空 哨 戒 及 敵 來 襲 機 擊 滅

五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛 擊 滅

六 地 上 作 戰 協 力

七 航 空 基 地 設 營 協 力 同 管 理 整 備

一 敵 攻 略 部 隊 機 動 部 隊 捕 捉 擊 滅

二 敵 潛 掃 蕩 擊 滅

三 A〇 方 面 敵 艦 艘 輸 送 船 擊 滅

		隊	艦
		隊	部
		官長	司令 隊
附			隊部
			官長司令隊
屬	2PB 1PB	隊部 備所 野	隊艦 隊遊艇 隊水務
第五	八 228	官司令 根子	隊部
氣	228 428	高橋隊 伏見丸 八五九三三 三隊	隊部
象	高橋隊 森隊	定所官司令 根子	定所官 揮指
隊	高橋隊 森隊		
氣	十島東方洋上哨戒 本州東方洋上哨戒	一地上警海面防禦 二海上交通保護 三敵潛掃蕩擊滅 四要地設警協力	一海空交通保護協力 二海面防禦協力 三運輸補給

2090

海軍 調査部長殿
北東方面艦隊機密第八號ノ二四六

十月三十日
自昭和十九年八月一日
年八月三十一日

北東方面艦隊
第十三航空艦隊

戦時日誌

北東方面艦隊司令部
第十三航空艦隊司令部



一 經過
二 人員ノ現狀
三 令達報告等
四 作戰經過概要

目次

(終)

「經過」

(イ) 敵情ニ友軍ノ狀況

(一) 歐洲戰線反樞軸軍ハ東西相呼應シテ對獨大攻勢ニ轉ジ西部戰線ニ於テハ米英軍ハ既ニフランスノ大半ヲ掌中ニ收メテ獨佛國境ニ迫リ東部戰線ニ於テハ獨本國國境附近ニ内迫又「バルカン」地區ヲ席卷セル赤軍ハ獨本國ヲ目指シテ急進撃ヲ續ツツアリ

之ニ對シ獨軍部隊ハ寡勢カヲ以テ克ク善謀勇戰局地酌ニハ隨所ニ敵ノ企圖ヲ破摧シツツモ大勢カハ依然獨軍不利ナルコト覆ラベカラザルモノアリテ獨軍ハ遠カラズ一大決戰ニ出ヅルノ要ニ迫ラルベク歐洲戰局ハ樞軸軍ニ執リ樂觀ヲ許サザル情勢在リ

自昭和十九年八月一日北東方面艦隊
至同 年八月三十日 第十一航空艦隊 戰時日誌

③中南部太平洋方面

「大宮」テニヤシ「島」ノ守備部隊ハ先月下旬以來敵上陸部隊ヲ
 邀撃奮戦中ナルモ既ニサイパン方面ノ敵軍事諸施設ハ概ネ
 整備完了セルモノノ如ク連日我小笠原諸島方面ニ對シ空襲
 ヲ實施スルト共二月末機動部隊ノ一部ヲモ交ヘテ熾烈ナル
 砲爆撃ヲ加ヘ來リ攻畧ヲ仄メカセシモ一應避退シ目下彼我
 對峙交戦中ナリ

他方「ヒアク」方面ノ敵ハ強引ニ「スンプホル」島ニ航空兵カヲ推進
 セシメ「菲島」「コロリン」方面次期進攻作戰ニ備ヘアルモノノ如ク
 「バルマヘラ」「ダバオ」地區ニ對スル敵襲漸次活況ヲ呈シ來レリ

帝國ハ近ク豫期スベキ一大決戦ニ備ヘ空海陸兵カノ急速移
 動展開ニ努ムルト共ニ聯合艦隊主力ハ作戰ノ傍ヲ銳意整備
 猛訓練ヲ續行中ナリ

(三) 支那大陸方面

成都方面ニ隱密蛭集ヲナリシ在支米空軍「B-1」ニ基
幹航空部隊ハ二十日大舉我九州及中國地方ニ對シテ空襲ヲ
加ヘ來リタルモ我所在制空隊ハ殊死挺身克ク其ノ多數ヲ
撃テ隊ヲ破シ敵ニ痛撃ヲ與タリ

(四) 北東方面

通信諜報ニ依レバ「アッツ」「ウルック」方面ニ敵部隊集結シ南方作
戦ニ策應牽制作戦ヲ企圖シアルモノノ如ク又陸上機ヲ以テ
スル北千島地方空襲依然活潑ナリ之ニ對シ我方ハ警戒ヲ
嚴ニシツツ鋭意邀撃態勢ノ強化ニ努カテ邁進中ナリ
(五) 敵潜水艦ノ海上交通破壊戦ハ益熾烈化ノ傾向ニアリテ我方
モ對潜作战強化ニ一段ノ努カヲ傾注シ克ク從來ニ見ザル
戦果ヲ收メ得タルモ敵ノ犠牲ヲ顧ミザル我補給路ノ遮

断強行ニ依リ我方被害亦輕視スベカラザレモノアリ今ヤ萬難
ヲ排シ速ニ對潛方策ノ飛躍的改善ヲ喫緊トスル情況ニ在

(三) 作戰指導要領

(一) 北東方面艦隊司令部ハ四月下旬以來占守島片岡基地

ニ在リテ全般作戰ノ指導ヲ任ジ居タルモ捷速作戰指導

要綱ニ基キ八月九月美幌基地經由千歳基地ニ移轉セリ

(二) 通信謀報ニ依レハ九月下旬來布哇ヲ出撃セル敵有力部隊

北東ノ北顯著ナリシヲ以テ一日申作戰第一法警戒ヲ下令決

戦配備ト爲セシモ敵ハアリエーシヤン中部ニ到着シ其後進攻

ノ模様ナキト判明セルヲ以テ五日同警戒ヲ解除セリ

(三) 北東方面艦隊戰時編成中主ナル変更左ノ如シ

(一) 一日附日帝丸ヲ北東方面部隊ニ編入セラル

0512

(二) 三日附 帝洋丸ヲ北東方面部隊附属ヨリ聯合艦隊附属ニ
編入セラル

(三) 十五日附 第三十魚雷調整班ヲ千歳基地第三十二魚雷調整班ヲ
片岡基地第二十三魚雷調整班ヲ三澤基地第三十六魚
雷調整班ヲ美幌基地ニ設置セラル

(四) 二十日附 第一九三號駆潜特務艇ヲ二十一日附 第一九四號駆潜特務艇ヲ

二十五日附 第三三六號駆潜特務艇ヲ夫々横鎮部隊ヨリ除キ千根
二十六日附 第三三魚雷艇隊ヲ千根部隊ニ編入ス

(六) 三十日附 水雷多摩ヲ二十一戦隊ヨリ除キ夫々横鎮部隊及第
十一水雷戦隊ニ編入セラル

(二) 八月中ノ北千島 方面被空襲回数 被雷撃手回数 茲ニ戦果左

如シ
十一回 (二) 汽船五隻沈没(天信丸、マヤチ丸、東榮丸、キンキラ丸)

519

東		北	
第二十航空隊	第五艦隊	第十一戰隊	那智、足柄、木曾、多摩 <small>(三十日附多摩予木曾ヲ除カル)</small>
第五十一航空戰隊	第一水雷戰隊	阿武隈	第七驅逐隊
第二〇三海軍航空隊	第五〇二海軍航空隊	第六驅逐隊	第三驅逐隊
第五五三海軍航空隊	第七〇一海軍航空隊		

(本)艦隊區分

高島丸(一)飛行機撃墜二撃破(四)潜水艦撃沈不確實(一)効果不明七

區分

方 面 艦 隊

<p>附 屬</p>	<p>千島方面根據地隊</p>	<p>艦隊 附 屬</p>
<p>第五氣象隊 日帝丸</p> <p>第百三十四號特設輸送艦</p> <p>第百三十三號特設輸送艦</p>	<p>占守通信隊</p> <p>第十五輸送隊</p> <p>第三魚雷艇隊</p> <p>第五十三警備隊</p> <p>第五十二警備隊</p> <p>第五十一警備隊</p> <p>國後八丈</p>	<p>第一驅逐隊</p> <p>第三〇第三二第三十三第三十六魚雷調整班</p> <p>第四五二海軍航空隊</p>

7

艦 合 聯		區
面 方 東 北	分 指 揮 官	區 分 指 揮 官
艦 面 方 東 北	隊 部 空 航 地 基 一 第	區 分 指 揮 官
	官 長 令 司 隊 艦 空 航 二 十 第	區 分 指 揮 官
島 十		區 分 指 揮 官
		區 分 指 揮 官
千 根 四 監 視 艇 快 風 丸	矢 風 第 三 十 六 第 二 十 三 第 二 十 二 雷 調 整 班	兵 力
千 根	十 歲 片 岡 三 澤 美 幌	配 備
一 海 上 交 通 保 護	一 地 上 之 海 面 防 備 一 海 上 交 通 保 護	主 要 任 務
	力 同 管 理 整 備	記 事
	七 航 空 基 地 設 營 協 承	
	六 地 上 作 戰 協 力	
	水 艦 擊 擊 滅	
	五 對 潛 哨 戒 及 敵 潛	
	四 對 空 哨 戒 及 敵 來	
	三 襲 擊 擊 滅	
	二 對 空 哨 戒 及 敵 來	
	一 明 示	
	艦 隊 輸 送 船 擊 滅	
	一 飛 行 師 團	
	一 併 七 指	
	揮 十 千 島	
	北 海 道 方	
	面 直 接	
	防 衛 作 戰	
	二 關 第	
	五 方 面 軍	
	司 令 官	
	指 揮 官	
	承	

（ハ）軍隊區分及配備

攻

8

隊	
隊 部	
官 長 令 司 隊	
附	
属	隊部備防
	△ 十 報
第一三特設 運送艦 第三四	第一三 隊 第二四 隊 第三 隊 第四 隊 第五 隊 第六 隊
日 帝 九 洋 氣 象 隊	司 令 官 所 定
運 輸 補 給 氣 象	三 敵 潜 水 艦 掃 蕩 擊 滅 四 要 地 設 管 協 力 五 運 輸 補 給 六 通 信 諜 報
戰 相 揮 橋 鎮 作 大 運 協 力	

人員ノ現状

(1)司令部

(2)職員官氏名

職	主務	官	氏名	記	事
司令長官		中將	戸塚 道太郎		
参謀長		少將	一宮 義之		
機關長		大佐	伊勢 貞良		
参謀	首席	同	藤田 菊一		
軍医長		医大佐	村上 倫吉		
主計長		主大佐	山田 涉		
参謀	施設	中佐	櫻井 金藏		
副官		同	竹村 一郎		
参謀	航空	同	島田 航一		

軍艦

海軍少将 田中 長茂
東京方面艦隊機密第八第一二四九
自昭和十九年九月一日
至同年九月三十日

十月三日送付

北東方面艦隊
第十二航空艦隊

戦時日誌

東京方面艦隊司令部
第十二航空艦隊司令部

10.11.26

0520

一 經過目次
二 人員現狀
三 令達報告等
四 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十九年九月一日北東方面艦隊
至同 年九月三十日第十二航空艦隊 戦時日誌

一 經過

(4) 敵情 茲ニ友誼ノ狀況

(一) 中南部太平洋方面

七旬ニ互リ死カヲ渴シテ騎敵ヲ邀撃中ナリシヲ大宮ヲニヤシ
西島所在部隊ハ月天ノ迄ニ残存全員敵ト禍刺玉碎スル
ノ己ムナキニ至レリ曩ニ「マリ」方面制空制海詰ヲ掌中ニ收
メ虎視耽々サ非島ヲ奪還ス機ヲ窺ヒアリシ敵ハ果然然戦動
艦隊ノ大部ヲ擧ゲテ比島方面岸制作戰ヲ敢行スルト共ニ
十五日「ベリ」モロタイ西島攻畧作戰ヲ強行シテベリ同
島海陸軍守備隊ハ再度之ヲ水際ニ邀撃撃退シタルモ遂

二敵大部ノ揚陸ヲ許スニ至レリ

爾後敵制海權下ニテリテ所在支那部隊ハ猛反撃ヲニ轉ジ
 敵強極マル戰鬥ヲ續行シ敵意軟クヘキ大戦果ヲ擧ケ敵ノ
 心膽ヲ震駭セシメツツアリ

此間聯合艦隊ハ航空部隊潜水艦隊ノ一部ヲ以テカロリン
 方面敵部隊ノ攻撃ヲ任セテト共ニ爾余ノ全カヲ擧ゲテ緊
 急戦備ヲ促進シ決期決戦ニ備アリ

北東方面

霧季明後ノ敵總反攻ヲ豫期シ緊密ナル海陸軍協同ノ下
 銳意北東方面邀撃態勢ノ強化ニ邁進セルモ上旬通信謀
 報上一部敵出動ノ兆アリタル外大規模ナル策動ヲ見ルニ
 至ラザリキ聯合艦隊司令長官ハ十月中旬以降決戦ヲ
 菲島海域ニ豫期シ十四日第十航空艦隊航空兵力ノ一部ヲ集

七基地航空部隊ニ編入セシムラル

(三) 敵潜水艦ヲ以テスル通商破壊戰我が對潛兵力ノ手薄茲ニ敵ノ集團攻撃ヲ戰法ノ採用トニ依リ愈激化シ一途ヲ辿リ今ヤ對潛作戰ノ成否ガ真ニ帝國ノ存亡ヲ左右セントスル趨勢ニ至リタリ

(四) 作戰指導要領

(一) 北東方面艦隊司令部ノ北海道千歲基地ニ在リテ全般作戰指導中

(二) 自九月一日期間第五十一航空隊隊本部ヲシテ聯合艦隊電令作第ニ八九號ニ依ル任務ニ従テセシムタリ

(三) 通信謀報上敵アリトシマシキ中露ノ北頭着ナリシヲ以テ九日

甲作戰警戒ヲ發令セシモ其ノ後著度無カリシヲ以テ十二日

同警戒ヲ解除セリ

(四) 聯合艦隊電令作第三四師ニ依リ攻撃す第七ニ飛行隊及
戰術第三三飛行隊ヲシテ第七基地航空部隊指揮官指
揮ヲ受ケシム

(五) 北東方面艦隊戰時編成中主ニル変更及ス如シ

(六) 九月五日附第一七第七第八防空隊ヲ第十ニ航空艦隊ニ編入ス
シタルモ九月二十日附艦隊ヨリ除カレ第三南遠艦隊ニ編入
セラル

(七) 九月十日附驅逐艦薄雲ヲ海軍戰時編制ヨリ除カル

(八) 九月中北東方面敵機不襲回数三戰果被害甚大

來襲回数十七回撃墜三機撃破七機(含不時着機及黒白煙

ヲ吐クシメタルモノ)

被害(飛行機 潜水艦ニ依ル)

第七十七駆潜特務艇 利山丸 第五新藤丸 八丈丸 計四隻

北 東 方 面

(三) 艦隊區分

第 五 艦 隊		第 二 十 一 艦 隊	
第 一 水 雷 戰 隊	附 屬	第 五 十 一 航 空 戰 隊	附 屬
那 智 足 柄	阿 武 隈 第 七 驅 逐 隊 第 八 驅 逐 隊 第 二 驅 逐 隊	日 帝 丸 帝 皇 丸 白 崎 第 三 第 三 丸 第 七 一 海 軍 航 空 隊 第 五 五 三 海 軍 航 空 隊 第 三 〇 三 海 軍 航 空 隊 第 五 〇 三 海 軍 航 空 隊 第 四 五 二 海 軍 航 空 隊	第 一 第 三 第 三 第 三 第 三 魚 雷 調 整 班

艦 隊

附

属

千島方面根據地隊

第一驅逐隊

國後八支

第五十一警備隊

第五十二警備隊

第五十三警備隊

第三魚雷艇隊

占守通信隊

第十五輸送隊

第百二十三號特設輸送艦

第百三十四號特設輸送艦

第五氣象隊

合 聯		區分 指揮區分 指揮區分 指揮區分 指揮區分	區隊區分及配備
方 東 北			
艦 面 方 東 北		第 三 基 地 航 空 部 隊	第 十 三 空 軍 官 長 官
千			
千		31A B	兵
千		5/54	兵
四 千 監 視 艇	第 三 六	七 〇 一 空	日 配 備
千 根	美 艦	五 〇 三 空	主 要 任 務
千 根	三 沃	五 五 三 空	
三 海 上 交 通 保 護	七 航 空 基 地 設 備 協 力 同 倍 理 整 備	通 海 北 島 千	一 敵 攻 擊 部 隊 機 動 部 隊 / 補 援 擊 滅
一 地 上 空 三 海 面 防 備	六 地 上 作 戰 協 力	三 明 我	二 A 〇 方 面 敵 航 空 機 體 擊 滅
	七 航 空 基 地 設 備 協 力 同 倍 理 整 備	四 對 空 明 我 及 敵 來 機 擊 滅	三 明 我
	七 航 空 基 地 設 備 協 力 同 倍 理 整 備	五 對 潛 水 艇 及 敵 潛 水 艦 擊 滅	四 對 空 明 我 及 敵 來 機 擊 滅
	七 航 空 基 地 設 備 協 力 同 倍 理 整 備	六 對 潛 水 艇 及 敵 潛 水 艦 擊 滅	五 對 潛 水 艇 及 敵 潛 水 艦 擊 滅
	七 航 空 基 地 設 備 協 力 同 倍 理 整 備	七 對 潛 水 艇 及 敵 潛 水 艦 擊 滅	六 對 潛 水 艇 及 敵 潛 水 艦 擊 滅

8250

艦 隊	
面 部 隊	
隊 司 令 長 官	
附 屬	島防備部隊
	千根
第一三特設輸送艦 第一三四〇	隊 鳳 九 白 崎 第八防區隊 第二一〇〇 第一四六〇
	第五魚雷隊
運輸補給 氣象	司令官所定
	三敵潛掃湯擊滅 四要地設營協力 五運輸補給 六通信謀報

人員現狀

司令部

職員官氏名

職	主務	官	氏名	記
司令長官		中将	後藤 英次	4/F司令長官兼1/F司令長官(2)着任
同		同	戸塚 通太郎	補佐長(2)着任(2)
参謀長		少将	一宮 義之	
参謀長		大佐	伊勢 貞良	
参謀首席		同	藤田 南一	
軍医長		医大佐	村上 倫吉	
主計長		主大佐	山田 涉	
参謀施設		中佐	櫻井 金藏	
副官		同	竹村 一郎	

同	司令部附	法務官 兼司令部附	同	同	司令部附	参謀	法務官 兼司令部附	兼参謀	同	同	同	参謀
庶務主任			主計長附	厘医長附	兵器			特務班長	整補 備給	通勢	航空	
主中尉	大尉	法大尉	大尉	医大尉	大尉	法大尉	同	同	同	少佐	中佐	
板谷重吉	清水康男	酒井雄介	伊藤登	須藤悦郎	根津一夫	千知波亮起	立崎英	松永力	伊藤春樹	増田三平郎	岡田怜	島田航
		法務官兼司令部附					大警 法務官兼司令部附	法参謀				